



# 平成29年11月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月13日

上場会社名 津田駒工業株式会社  
 コード番号 6217 URL <http://www.tsudakoma.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高納 伸宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括総務部長 (氏名) 松任 宏幸  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 076-242-1110

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年11月期第1四半期の連結業績(平成28年12月1日～平成29年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第1四半期	6,924	31.2	337		414		424	
28年11月期第1四半期	10,065	40.4	196		131		124	

(注) 包括利益 29年11月期第1四半期 44百万円 ( %) 28年11月期第1四半期 178百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第1四半期	6.64	
28年11月期第1四半期	1.94	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第1四半期	33,935	13,260	36.1
28年11月期	36,179	13,307	34.0

(参考) 自己資本 29年11月期第1四半期 12,266百万円 28年11月期 12,311百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期		0.00		0.00	0.00
29年11月期					
29年11月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年11月期の期末の配当につきましては、現時点では未定です。  
 配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

## 3. 平成29年11月期の連結業績予想(平成28年12月1日～平成29年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,500	8.6	150	69.8	100	74.3	50	83.6	0.78
通期	40,500	4.2	800	9.9	700	19.9	550	25.9	8.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年11月期1Q	68,075,552 株	28年11月期	68,075,552 株
期末自己株式数	29年11月期1Q	4,165,276 株	28年11月期	4,164,225 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年11月期1Q	63,910,808 株	28年11月期1Q	63,913,210 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 3
(1) 追加情報	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
(セグメント情報等)	P 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 1. 当第1四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が継続しておりますものの、米国トランプ政権の政策運営や欧州の政治情勢など海外の動向に不透明感が広がってまいりました。

こうした中、当企業グループは黒字体質への転換を目指し、受注・売上の拡大と生産効率化の活動を進めました。

繊維機械事業では、昨年秋以降の円高やインド政府による高額紙幣廃止政策に伴う銀行業務の混乱から、当社の決済に必要なL/C（信用状）の発行業務が遅延し、当第1四半期の生産、売上に大きく影響いたしました。L/C（信用状）につきましては、2月以降徐々に開設が進んでおり、第2四半期以降は正常化に向かうものと考えております。

この結果、全体では、当第1四半期の受注高は10,005百万円（前年同期比1.2%増加）と概ね堅調に推移いたしましたものの、売上高は6,924百万円（前年同期比31.2%減少）と繊維機械事業の落ち込みが影響いたしました。

損益面では、営業損失337百万円（前年同期 営業利益196百万円）、経常損失414百万円（前年同期 経常利益131百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失424百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益124百万円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

## (繊維機械事業)

繊維機械事業では、インド市場は、前述のとおり一時的な混乱はありましたが、設備投資意欲は衰えておらず、引き合いは活発に継続しております。中国市場では、期待しておりますウォータージェットルーム分野の回復は遅れておりますが、タオル用エアージェットルームの大口案件が動き出すなど回復傾向を強めてまいりました。

また、台湾市場では、台湾客先の国外での設備投資が活発になりました。

この結果、当第1四半期の受注高は8,053百万円（前年同期比0.5%増加）となりました。売上高はインド向けの落ち込みの影響から4,952百万円（前年同期比38.1%減少）となりました。営業損失は192百万円（前年同期 営業利益334百万円）となりました。

## (工作機械関連事業)

工作機械関連事業では、国内外の自動車関連業界の設備投資が引き続き活発に推移いたしました。また、中国で自動車部品関連の新規需要も見られ、取り込みに注力いたしました。国内の工作機械業界も徐々に回復してまいりました。

一方で、米国の経済政策を見極めたいとして、設備投資計画が一時的に延期された案件もありました。

この結果、当第1四半期の受注高は1,951百万円（前年同期比4.1%増加）となりました。売上高は1,971百万円（前年同期比4.4%減少）となりました。営業利益は138百万円（前年同期比10.8%増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,244百万円減少し33,935百万円となりました。主な増減は、売上が減少し営業債権が減少したこと等によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ2,197百万円減少し20,675百万円となりました。主な増減は、生産が減少し仕入債務が減少したこと等によるものであります。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失424百万円を計上したものの、その他包括利益累計額が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ46百万円減少し13,260百万円となり、自己資本比率は36.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期におきましては損失計上となりましたが、受注は堅調に推移しており、第2四半期以降は回復すると見込んでおります。

繊維機械事業では、インド市場の正常化と中国市場の需要回復を見込んでおります。また、台湾資本の海外投資の需要を積極的に取り込み、当第1四半期の落ち込みをカバーしてまいりたいと存じます。

コンポジット機械では、航空機部材用の炭素繊維自動積層機、スリッター装置などの売上进行を予定しております。

工作機械関連事業では、自動車業界を中心に設備投資は堅調に推移すると見込んでおりますが、前述のとおり、米国の経済政策の見極めから納期の変動も予想されるため、状況の変化に対応した効率的な生産体制の構築を図ってまいります。

この結果、現状では連結業績の予想数値に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,924	6,950
受取手形及び売掛金	10,291	8,017
製品	2,016	2,208
仕掛品	2,508	2,538
原材料及び貯蔵品	846	1,080
その他	1,214	460
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	23,791	21,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,345	3,339
機械装置及び運搬具（純額）	1,908	1,924
土地	3,826	3,826
建設仮勘定	67	81
その他（純額）	248	251
有形固定資産合計	9,396	9,423
無形固定資産	80	113
投資その他の資産		
投資有価証券	2,542	2,772
その他	792	804
貸倒引当金	△423	△423
投資その他の資産合計	2,911	3,153
固定資産合計	12,388	12,690
資産合計	36,179	33,935

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,464	2,885
短期借入金	6,539	6,553
未払法人税等	134	38
賞与引当金	—	424
受注損失引当金	—	0
未払金	4,555	3,520
その他	2,194	1,301
流動負債合計	16,888	14,724
固定負債		
長期借入金	267	201
役員退職慰労引当金	17	17
退職給付に係る負債	5,579	5,544
その他	119	187
固定負債合計	5,984	5,950
負債合計	22,872	20,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,316	12,316
資本剰余金	3,880	3,880
利益剰余金	△2,370	△2,795
自己株式	△1,238	△1,238
株主資本合計	12,587	12,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	278	418
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	207	403
退職給付に係る調整累計額	△762	△717
その他の包括利益累計額合計	△275	103
非支配株主持分	995	994
純資産合計	13,307	13,260
負債純資産合計	36,179	33,935

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
売上高	10,065	6,924
売上原価	8,585	6,083
売上総利益	1,479	840
販売費及び一般管理費	1,283	1,177
営業利益又は営業損失(△)	196	△337
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	9
その他	11	21
営業外収益合計	20	32
営業外費用		
支払利息	21	17
持分法による投資損失	16	44
為替差損	41	44
その他	4	3
営業外費用合計	84	109
経常利益又は経常損失(△)	131	△414
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	132	△415
法人税、住民税及び事業税	5	4
法人税等調整額	2	5
法人税等合計	7	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	124	△425
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	124	△424



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	124	△425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△374	141
繰延ヘッジ損益	△8	△1
為替換算調整勘定	91	138
退職給付に係る調整額	14	45
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	57
その他の包括利益合計	△303	381
四半期包括利益	△178	△44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172	△44
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	8,002	2,062	10,065	—	10,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	103	—	103	△103	—
計	8,105	2,062	10,168	△103	10,065
セグメント利益	334	124	458	△262	196

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△262百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	繊維機械 事業	工作機械 関連事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,952	1,971	6,924	—	6,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108	—	108	△108	—
計	5,061	1,971	7,033	△108	6,924
セグメント利益又は損失(△)	△192	138	△53	△283	△337

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメントに配賦していない全社費用△283百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。